

2025年度 日本の持続可能な酪農研究会

～国内外の“サステナ”を知り現場での実践につなげるために～

プログラム

2026年3月2日（月） 10:30－19:00

（於：アルカディア市ヶ谷）

（後援：農林水産省）

開会挨拶

◇ 講演会 （10:35 - 14:25） （敬称略）

第一部

- | | | |
|------|----|--------------------------------------------|
| 講演 ① | 演題 | 搾乳の自動化と酪農の未来 |
| | 演者 | 森田 茂（酪農学園大学 教授） |
| 講演 ② | 演題 | Animal Welfare に関する国際的な状況－IDF サミット 2025 から |
| | 演者 | 近藤 誠司（北海道大学 名誉教授） |
| 講演 ③ | 演題 | 飼料自給構造の国際比較－IFCN データが示す持続可能性の視点 |
| | 演者 | 日向 貴久（酪農学園大学 教授） |
| 講演 ④ | 演題 | “サステナ”で変わる世界の酪農乳業～GDP の取り組みと日本へのメッセージ |
| | 演者 | 木ノ内 俊（Jミルク） |

（昼食：12:20-13:00）

第二部

- | | | |
|-------|----|--------------------------------------------------------|
| 出席報告 | 演題 | IDF 酪農家円卓会議 |
| | 演者 | 栗原 丈治（Jミルク） |
| 事例報告① | 演題 | 酪農を持続可能に～Meiji Dairy Advisory（メイジ・デイリー・アドバイザー）による経営支援～ |
| | 演者 | 木村 康行（(株)明治） |
| 事例報告② | 演題 | 酪農現場から進める GHG 削減への道～GHG 算定シートを活用した排出源の見える化～ |
| | 演者 | 内藤 健憲（森永乳業（株）） |
| 事例報告③ | 演題 | 「リジェネラティブな酪農とは」～北海道の事例より～ |
| | 演者 | 越智 成東（雪印メグミルク（株）） |
| 事例報告④ | 演題 | 良質な牛乳と高い生産力を生み出す酪農経営に向けて |
| | 演者 | 丸山 純（酪農家（朝霧メイプルファーム）） |
| 活動報告 | 演題 | Jミルクにおけるアニマルウェルフェアへの取り組み |
| | 演者 | 関 芳和（Jミルク） |

◇ 討論会 (14:45 - 16:45)

テーマ：「日本の持続可能な酪農をどう進めるか」

モデレーター：生源寺 眞一 (東京大学・福島大学 名誉教授)

清水池 義治 (北海道大学 准教授)

パネリスト : 上記の講演者及び報告者

第一部 「海外」の取り組みから“サステナ”を知り酪農現場での実践につなげる

第二部 「国内」の取り組みから“サステナ”を知り酪農現場での実践につなげる

閉会挨拶

◇ 交流会 (17:30 - 19:00)